

阿久根市子ども・子育て会議録概要

第3回	日時	平成26年3月19日(水) 午後3時～午後4時10分	場所	市役所第1会議室
-----	----	-------------------------------	----	----------

出席者(19名)	伊藤周平委員, 清水貴士委員, 折橋妙子委員, 今村英幸委員, 花田房義委員, 榎園すま子委員, 釣井知美委員, 濱邊智美委員, 前平真澄委員, 出口隆盛委員, 飯尾章寛委員, 輿水 基委員, 上池浩策委員, 飛松健志委員, 寺地正吉委員, 原田正美委員, 五田貴子委員, 中山義邦委員, 佐潟 進委員
会次第	1 開会 2 資料説明 3 第2回子ども・子育て会議の概略説明 4 議事
議事(概要)	1 子ども・子育て支援計画策定に係るニーズ調査の集約に基づく保育の量の見込みについて
	<p>○ 事務局説明</p> <p>最初に第2回子ども・子育て会議における意見反映のための資料の修正についての説明を行う。</p> <p>また, 量の見込みについては, 国の集計方法に伴うニーズ量の算出についての説明, 広域入所について出水区内での協議内容の報告, 認定区分に伴う児童のニーズ量の推計を示した。</p> <p>○ 質疑</p> <p>① ニーズ量について, 人数表示は分かるが, 人/日等で100%を超える数字等が出ているが, 数字としてどのように解釈すればいいのか。</p> <p>A 設問に基本となる1週当たりの利用希望人数に国基準の計算式により決まった部分もあるので, アンケート調査に推定人口数等をかけあわせて, 出した数字であると解釈している。</p> <p>② ニーズ調査の設問の数字と実態に即した事業において数字の整合性に疑問があるように感じるが。</p> <p>A 今回の調査結果数字と保育・教育の量の見込みについては, 差があると考えている。今後も実態調査等を鑑み, ニーズ量については考慮していく。</p>
	2 公立保育園(みなみ保育園)の運営方針について

	<p>○ 事務局説明</p> <p>保育部会での協議内容を説明。みなみ保育園については、一定の協議をいただき、平成27年度以降も公立保育所として継続が承認された。</p> <p>公立保育所は地域の保育の義務・責任を担っており、他の行政機関との連携、行政施策の取り入れやすさという特性を活かし、地域全体の子育て機能の向上を図る目的で今後も運営していくことを説明。</p> <p>○ 保育部会委員の補足等</p> <p>少子化傾向の観点から、みなみ保育園が定員の調整というところで、市内全体の保育所運営についておおきな役割を果たし、さらには地域保育に携わることで、今後も公立保育所としての継続を承認したところである。</p> <p>○ 議決</p> <p>みなみ保育園については、平成27年度以降も公立保育所として継続して運営していくことが議決された。</p>
	<p>3 子ども・子育て支援計画について</p>
	<p>○ 事務局説明</p> <p>次世代支援対策推進計画においても基本理念を示していたが、前回の会議において、委員の皆様に考えを示していただきたいと考えていたところである。</p> <p>○ 意見等</p> <p>保育料の値下げ等を含め、今後の新制度を考慮した形で、阿久根市が子育てしやすい町として全面に押すような形で考えては。子育てしやすいことによって、阿久根に住もうとする人が増えるようなものにしてはどうか。</p> <p>○ 以上の意見を含め、理念については事務局に一任する。</p>
	<p>4 その他</p>
	<p>○ 議長から</p> <p>基準部会で給食費の取扱いが出てきたが、公定価格に含めずに、給食費の実費が発生するということになってきた。介護保険でもそうであるが、材料費徴収から、食費実費となってきた。</p> <p>給食費の軽減を自治体で負担すれば、確実に自治体の経済負担も大きくなる。国の情報も私（議長）が調べてみます。</p>